

南山大学人類学博物館

年 報

2016 年度

南山大学人類学博物館

巻頭言

2013年にリニューアルした人類学博物館は、その当初からユニバーサルミュージアムを目指すという方針をもって活動してきた。この方針は今でも揺らぎはない。博物館は「全ての人に開かれている」と謳いながら、実際にはある人々を意識的・無意識的に排除してきたことは事実だからであり、これからの時代の博物館はその逆に、どれだけインクルージヴ（包摂的）になれるかが問われていると思うからである。

しかし、最近になって、人類学博物館でこれだけの「触る展示」を実現したのだから、むしろ「触る展示」の可能性を追求してみることが求められているのではないか、という方向へ、少しだけ意識が変化してきた。そのことは、もちろん、触る以外の感覚の可能性を否定するものではない。

昨年（2016）の12月に、全日本博物館学会と日本展示学会との共同開催によるハンズオン研究会を本学で開催した。当初は30名くらいといわれていた参加者も、フタを開ければ予想の倍の60名以上の参加をみたのである。今の博物館で、どれほどハンズオンに対する関心が高いかがうかがえる。

ハンズオン展示とユニバーサルミュージアムは同じではない。しかし、その手法に近いこともあって、議論も発展的なものとなったし、様々な館で様々な取り組みがなされ、そして同じくらいの課題を抱えていることが明らかになったと言える。そうした状況をみると、今、「触る」ということをどのように博物館の展示・学習プログラムに取り入れ、活かすのか、その理論構築が必要なのではないか、と思えてきたのである。だとすれば、当面は人類学博物館が「触る」理論の構築を推進しようとするのは不自然ではない。

それにしても、全国の博物館では実に様々な試みがなされている。そのすべてが成功しているわけではないが、努力には多大なものがあるし、何よりもそうした実践が全て来館者・利用者に対する利他的な情熱であることに大きな感銘を受ける。

こうしたことも知らずに「学芸員はがん」などと言うのは不見識以外の何物でもあるまい。

2017年
南山大学人類学博物館

目次

1. 2016年度の人類学博物館の活動	1
(1) 教育普及活動	1
① 展示	1
② 講座	3
③ 連携授業	5
④ 総合学習	5
⑤ 学外博物館実習	6
(2) 調査・研究活動	6
調査出張	6
(3) 資料の収集・整備と利用	7
① 受贈資料	7
② 燻蒸の実施	7
③ 購入図書	8
④ 受贈図書数	8
⑤ 資料貸出	8
⑥ 取材・調査のための来館者一覧	8
⑦ 撮影・他機関刊行物等への掲載	9
⑧ 当館紹介刊行物一覧	10
(4) 出版活動	10
2. 組織と運営	11
(1) 組織	11
(2) 開館・入館者実績	11
① 開館日数・入館者数	11
② 入館団体内訳	11
③ 視察見学	13
3. 規程	14
(1) 南山大学人類学博物館規程	14
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	15
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	16
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	17

1. 2016 年度の人類学博物館の活動

(1) 教育普及活動

教育普及活動として、博物館主催及び博物館実習受講生による企画展示をはじめ、専門家を招聘してのセミナー、フィールドワーク等を行った。また、高校との連携授業を行ったほか、中学生の総合学習・職場体験学習も受け入れ、博物館学芸員の職業体験を通して中高生に博物館の実際を知ってもらった。

① 展示

○博物館主催展

※印の展示……博物館学芸員が企画し、「博物館実習」受講生が授業の一環として
パネル・キャプションの作成および展示作業を行った。

・人類学博物館紀要に載った資料展※

会期：2016年5月20日（金）～6月16日（木）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：1,348名

・西江雅之コレクション展「西江雅之のみた遠景をたずねて」※

会期：2016年6月24日（金）～7月14日（木）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：682名

・手からウロコの触図展

会期：2016年12月12日（月）～12月17日（土）

会場：南山大学人類学博物館

作品製作者：林子翔

協力：名古屋盲人情報文化センター

期間中来館者数：331名

・新収蔵品展「南コレ なんだコレ？ 2016」

会期：2017年2月24日（金）～4月8日（土）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：568名

○「博物館実習」受講生主催展

・学芸員のおすすめのイッピン

会期：2016年8月22日（月）～9月3日（土）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：202名

- ・博物館実習 1 実習生による企画展「記録に遺された歴史」

会期：2016年12月2日（金）～12月15日（木）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：410名

- ・博物館実習 2 受講生自主企画展

（「武器は正義か？」「昭和人になろう」「Ethnic Sound との出会い」「視先」）

会期：2016年12月16日（金）～2017年1月12日（木）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：338名

○2016年度南山大学人類学博物館・明治大学博物館交換企画展

南山大学博物館会場：「はにわのまつり—玉里舟塚古墳の埴輪の世界—」

明治大学博物館会場：「交錯する視線—文化人類学者 西江雅之の「歩き方」—」

会期：2016年10月1日（土）～11月6日（日）

会場：南山大学人類学博物館・明治大学博物館

総来場者数：6,487名

ギャラリートーク ①南山大学人類学博物館会場…10月22日（土）15：15～16：15

人類学博物館展示室

担当：忽那敬三（明治大学博物館）

「よみがえる埴輪のまつり—茨城県玉里舟塚古墳の埴輪群像」

聴講者：25名

②明治大学博物館会場…10月8日（土）15：00～16：00

明治大学博物館教室

担当：鈴木智子（南山大学人類学博物館）

「西江雅之の『歩き方』講座」

聴講者：20名

在校生向け特別講義 ①南山大学会場…10月26日（水）13：30～15：00

テーマ：祖先の暮らしを知る—地方古文書から見えてくるもの

講師：外山 徹（明治大学博物館）

参加者：38名

②明治大学会場…11月4日（金）14：40～17：50

テーマ：他者の展示は可能なのか？

講師：黒澤 浩（南山大学人文学部）

参加者：21名

② 講座

○特別講演会「異郷を旅した人 西江雅之先生に会う」

開催日時：2016年5月24日（火）17：00～18：30

会場：南山大学 R 棟 R31 教室

講師：加原奈穂子氏（東京芸術大学）

参加者数：84名

○フィールドワーク

2016年度フィールドワーク「東海の遺跡を歩く 2016」 申込者数：23名

第1回 10月22日（土） 事前指導 講師：如法寺慶大、鈴木智子
（南山大学人類学博物館）

第2回 10月30日（日） 「大垣市～昼飯大塚古墳を中心に～」開催
車塚古墳、大塚1号墳、昼飯大塚古墳、粉糠山古墳、
美濃国分寺墳、遊塚古墳、八幡山古墳、堤ヶ谷3号墳、
大垣市歴史民俗資料館見学
現地講師：高田康成氏、中井正幸氏（大垣市教育委員会）

第3回 11月13日（日） 「守山区～志段味古墳群を歩く～」開催
東谷山白鳥古墳、尾張戸神社古墳、中社古墳、南社古墳、白鳥
塚古墳、志段味大塚古墳、大久手5号墳、東大久手古墳、西大
久手古墳、大久手3号墳、大久手4号墳、勝手塚古墳見学
現地講師：深谷淳氏（名古屋市教育委員会）

第4回 11月27日（日） 「安城市～安城市歴史博物館・桜井古墳群を巡る～」開催
塚越古墳、二子古墳、桜井神社、獅子塚古墳、姫塚古墳、
亀塚遺跡跡、姫小川古墳、安城市歴史博物館見学
現地講師：西島庸介氏（安城市教育委員会）

第5回 12月3日（土） 事後指導 講師：如法寺慶大（南山大学人類学博物館）

○博物館講座

2016年度博物館講座『交易をめぐる4つの話題』

第1回 6月4日（土）「宗谷海峡を越えて 一博物館資料と近世末期の古文書からかんがえる
アイヌ民族の交易活動一」

講師：出利葉 浩司氏（北海道博物館）

参加者数：17名

第2回 6月11日(土)「謎の航海民・ラピタ人の交易システム
—海の世界からみる適応戦略—」

講師：石村 智氏 (東京文化財研究所)

参加者数：16名

第3回 6月18日(土)「交易をする人々・漁をする人々
—伊勢湾岸の近世史料で難破船を追う—」

講師：林 順子氏 (南山大学経済学部)

参加者数：11名

第4回 6月25日(土)「宝貝通貨から見た西アフリカ内陸地方の交易と市場」

講師：坂井 信三氏 (南山大学人文学部)

参加者数：13名

○名古屋大学博物館連携講座「大学博物館が語る、地球と人類のヒストリー」

2016年度より、名古屋大学博物館と連携し、連続講座を開始した。理系・文系の枠を超えて、地球の誕生から現代に至る大きな歴史を、博物館資料を使いながら、両大学の研究者が解説した。

第1回 10月1日(土)「名古屋大学博物館が目指す自然史科学とは？」

フィールド調査からわかること」

講師：大路 樹生 (名古屋大学博物館)

会場：南山大学 R 棟 R31 教室

参加者数：70名

第2回 10月15日(土)「未知なる世界への好奇心—博物学、人類学、考古学、そして博物館」

講師：黒澤 浩 (南山大学人文学部)

会場：名古屋大学博物館講義室

参加者数：80名

第3回 10月29日(土)「石の道具が語る人類の進化

—日本でここだけ！原人、旧人、新人の道具を見比べよう」

講師：門脇 誠二 (名古屋大学博物館)

会場：南山大学 R 棟 R31 教室

参加者数：73名

第4回 11月5日(土)「オセアニア、海を渡った人々—人類大移動の軌跡に迫る—」

講師：如法寺 慶大 (南山大学人類学博物館)

会場：名古屋大学博物館講義室

参加者数：90名

③ 連携授業

人類学博物館では、2007年度より名城大学附属高校と連携授業を実施している。

- 4月18日（月）：趣旨説明、博物館資料を探せ！（シルエットクイズ&文様探し）〔南山〕
- 5月2日（月）：実物資料を見る①～縄文土器の観察と技術の発見～〔南山〕
- ・縄文土器の観察（スケッチ、意見交換、意見に対するコメント等）
 - ・土器製作技術の説明（作り方はどこをみるとわかるか、文様施文法入門、技術からわかること）
- 5月30日（月）：実物資料を見る②～用途を考える～〔南山〕
- ・弥生土器の観察（スケッチ、意見交換、レポート）
 - ・用途を考える
- 6月13日（月）：実物資料を見る③～石器～〔名城〕
- ・石器の観察（スケッチ、意見交換）
 - ・石器の説明（石はどう打ち割られているか、剥片の観察から何がわかるか）
- 6月20日（月）：大学での勉強と博物館〔名城〕
- ・考古学、人類学とは
 - ・人類学博物館の一品/逸品（考古資料、民族誌資料）
- 7月4日（月）：昭和の一品/逸品……それにまつわる家族の物語（発表）〔名城〕
- 7月11日（月）：授業のまとめ、人類学博物館理解度テスト〔名城〕

④ 総合学習

本年度は8校より総合学習の申し出があった。

（見学×5校 職場体験学習×2校 ワークショップ×1校）

○見学

月日	学校名	人数
6月22日	私立多治見西高等学校附属中学（岐阜県）	40
6月22日	豊橋市立中部中学校	16
10月4日	南山中学校女子部	27
1月18日	名古屋市立桜田中学校	24
2月18日	南山中学男子部	11

○職場体験学習

- ・愛知県 私立 愛知中学校

期間：2016年7月13日（水）～14日（木）

受入人数：5名

実施内容：展示室・収蔵庫掃除、梱包資材作成、資料梱包体験、図書コーナーの作成 等

・名古屋市立 神沢中学校

期間：2017年1月18日（水）～19日（木）

受入人数：4名

実施内容：展示室・収蔵庫掃除、梱包資材作成、梱包体験
資料、図書コーナーの作成 等

○ワークショップ

名古屋市立 広見小学校

開催日：2016年7月12日（火）

参加人数：12名

内容：考古学についての解説、粘土・コップを使用した施文体験、シルエットクイズ

⑤ 学外博物館実習

本年度は2校より実習の申込があり、計2名を受け入れた。

申込大学：中部大学、愛知学院大学（各1名）

期間：2016年8月1日（月）～8月5日（金）

実施内容：資料取扱・梱包、収蔵庫メンテナンス、団体見学対応、石器実測、
解説作成（課題）等

（2）調査・研究活動

積極的にシンポジウム、研究会へ参加し、調査・研究活動を行った。

調査出張

1) 平成28年度愛知県博物館協会総会

日時：2016年度6月16日（木）

内容：平成28年度愛知県博物館協会総会へ出席

出張者：鈴木智子

2) 平成28年度東海地区博物館連絡協議会総会、日本博物館協会東海支部総会

日時：2016年度7月28日（木）

内容：平成28年度東海地区博物館連絡協議会総会および
日本博物館協会東海支部総会へ出席

出張者：如法寺慶大

3) 第41回東海三県博物館協会研究交流会

日時：2016年12月2日（金）

内容：第41回東海三県博物館協会研究交流会へ出席

出張者：如法寺慶大

4) 平成 28 年度著作権セミナー（愛知会場）

日時：2017 年 1 月 20 日（金）

内容：平成 28 年度著作権セミナーへ出席

出張者：鈴木智子

5) 愛知博物館協会研修会

日時：2017 年 3 月 8 日（水）

内容：愛知博物館協会研修会へ参加

出張者：鈴木智子

（3）資料の収集・整備と利用

① 受贈資料

1. 大塚達朗氏より

寿能泥炭層遺跡（埼玉県さいたま市大宮区）出土縄文土器片 316 点

2. David Rines 氏より 鳥籠、短床犁、掛け時計、総取り、桶 計 5 点

3. 小島奈穂子氏より

西江雅之氏旧蔵資料の追加分

木製立像浮彫板 7 点、女性像（コンゴ共和国・クバ族）1 点 計 8 点

② 燻蒸の実施

○包み込み燻蒸（資料燻蒸）

6 月 15 日 燻蒸開始

6 月 29 日 燻蒸終了

○施設燻蒸 R 棟

7 月 6 日 施工前昆虫トラップ配置

7 月 21 日 施工前昆虫トラップ回収

7 月 23 日 燻蒸実施

7 月 25 日 施工後トラップ配置

8 月 5 日 施工後トラップ回収

○施設燻蒸 G 棟

7 月 21 日 施工前昆虫トラップ配置

8 月 3 日 施工前昆虫トラップ回収

8 月 4 日 燻蒸実施

8 月 5 日 施工後トラップ配置

8 月 22 日 施工後トラップ回収

③ 購入図書

15冊

④ 受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
721	665	253

⑤ 資料貸出

貸出先	資料名・点数	貸出期間	目的
愛知県美術館	火踊り用の仮面（パプアニューギニア）、椅子（南米ギアナ）、男女の木像（西アフリカ・ロビ族）×2、ムワリ（パプアニューギニア）、ドバイ作成用の板（トロブリアンド諸島、パプアニューギニア）、鉄製の貨幣（西アフリカ）、ドリームキャッチャー（アメリカ）、鳥追いのかかし（インドネシア）、サンダル（ケニア、マサイ族）	2016年 7月20日～ 11月15日	「あいちトリエンナーレ2016」出品するため
半田市立博物館	入海貝塚出土土器 14点、入海貝塚出土土偶 1点、入海貝塚出土石器 5点、入海貝塚出土骨角器 2点	2016年 9月2日～ 10月16日	半田市立博物館企画展「古代のくらし—知多半島の縄文・弥生・古墳時代—」で展示するため

⑥ 取材・調査のための来館者一覧

来館者名	資料名・点数	実施日
愛知県美術館	西江雅之コレクション	2016年4月14日
松戸市立博物館	南山大学ニューギニア調査隊撮影写真	2016年7月15日
神奈川県教育委員会	清水遺跡出土銅鏃 1点	2016年8月26日
東京国立博物館	博物館施設	2016年8月24日
公益財団法人元興寺文化財研究所	大須二子山古墳出土 画文帯神獣鏡、柄襠式挂甲、f字形鏡板付轡、剣菱形杏葉、心葉形杏葉、雲珠、辻金具、吊金具、破片類 計 12点	2016年9月19日 ～9月24日

京都大学大学院	大須二子山古墳出土馬具 11点	2016年9月2日
公益財団法人元興寺文化財研究所	胴丸式挂甲（本体1点、小片1点）、裨襠式挂甲（背当・胸当）、脇当、衝角付冑、肩甲片、画文帯神獸鏡計9点	2016年12月16日～12月17日
豊橋市教育委員会	小林知生教授調査「豊橋市嵩山」発掘調査資料（図書類）	2017年2月3日
横浜ユーラシア文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団の収集資料、写真（データ含）、フィルム、書類	2017年2月21日、2月27日～28日、3月4日、3月28日

⑦ 撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
呉市医師会	磨製石斧（パプア・ニューギニア）	呉市医師会「餘韻」	2016年8月8日
愛知県美術館	上記貸出資料に同じ	あいちトリエンナーレ関連印刷物（カタログ、チラシ等）、Web掲載	2016年7月15日～
半田市博物館	入海貝塚出土土器、土偶、石器、骨角器（合計22点）	企画展「古代のくらしー知多半島の縄文・弥生・古墳時代ー」展示リーフレット	2016年9月10日
譽田亜紀子（東京新聞）	千葉県銚子市余山貝塚出土土偶	東京新聞・中日新聞・北陸中日新聞 水曜日夕刊連載『土偶界へようこそ』	2016年10月
松戸市博物館	南山大学東ニューギニア調査隊撮影写真（合計23点）	企画展『石斧と人ー3万年のあゆみ』の展示パネル	2016年9月17日
一般社団法人ヤオ族文化研究所	歌書『盤王大歌』 上智大学西北タイ歴史文化調査団収集資料	北西タイヤオ族文献資料に関する報告書	未定
日本展示学会	資料写真（バイフェイス、加曾利E式土器） 館内写真、昭和のカタログ展示室（合計4点）	学会誌『展示学』54号（第5回日本展示学会賞受賞報告記事に掲載） 学会誌デジタルデータ化およびインターネットによる公開を含む	2017年2月28日
NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク	2007『伊藤秋男先生古希記念考古学論文集』掲載写真 PP. 462-463 「蓮池古墳3石室内首都度状況」、「蓮池古	青塚古墳ガイダンス施設企画展「楽田、埋もれた道の歴史」展パネル	2016年12月6日～2017年2月5日

	墳4周辺風景（古墳から蓮池を見る）、「蓮池古墳7調査風景」、「蓮池古墳8石製蔵骨器」、「蓮池古墳9古墳周辺から出土した須恵器」（合計5点）		
株式会社童夢	大須二子山古墳出土副葬品（11点）	「大研究！日本の歴史 人物図鑑」全5巻 第1巻「古墳をつくった人びと」	2017年2月
有限会社アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢型土器	株式会社学書「さなる式 歴史I」	2017年3月1日
東急文化村	楯（オーストラリア）、棍棒（オーストラリア西部）、ブーメラン（オーストラリア）、擬餌針（ニュージーランド）	「キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』展」関連広報用印刷物およびインターネット	2017年4月～2017年7月
大阪府立近つ飛鳥博物館	大須二子山古墳出土品（合計10点）	平成29年度春季特別展にともなう図録・展示パネル、ポスター等広報資料	2017年4月22日～6月18日
株式会社山川出版社	千葉県銚子市余山貝塚出土土偶	譽田亜紀子著『土偶界へようこそ』	2017年7月25日

⑧ 当館紹介刊行物一覧

機関名	内容	刊行物名
株式会社交通タイムス	紹介文・写真	『N:BOOK』
日本展示学会	紹介文・写真 「第5回展示学会賞作品賞」受賞	『展示学 第54号』

（4）出版活動

本年度も例年どおり、2点の出版物を刊行した。

1. 『南山大学人類学博物館紀要』第35号
2. 『南山大学人類学博物館年報 2015年度』（Web掲載）

2. 組織と運営

(1) 組織

1) 職員

館長	中 裕史 (副学長／教学担当／外国語学部教授)
担当教員	黒澤 浩 (人文学部教授)
学芸員	如法寺 慶大 (特別嘱託職員) 鈴木 智子 (特別嘱託職員)
事務員	室田 美香 (専任嘱託職員) 近藤 幸子 (臨時職員)

2) 博物館運営委員会

委員長	黒澤 浩 (人文学部教授)
委員	石原 美奈子 (人類文化学科長／博物館学芸員養成課程委員会委員長) 加藤 隆浩 (外国語学部教授) 大塚 達朗 (人文学部教授) 濱田 琢司 (人文学部教授) 土屋 玲 (教育・研究支援事務室長)

3) 資料評価委員会

委員長	大塚 達朗 (人文学部教授)
委員	加藤 隆浩 (外国語学部教授)
委員	後藤 明 (人文学部教授)
委員	渡部 森哉 (人文学部教授)
委員	林 順子 (経済学部教授)
委員	濱田 琢司 (人文学部教授)

(2) 開館・入館者実績

①開館日数・入館者数

開館日数	入館者数	団体数	団体人数
280	11326	59	3267

②入館団体内訳

・大学見学

日付	団体名	人数	担当課室
6月1日	愛知県立新城東高校	65	入試課
6月6日	岐阜県立各務原高校	50	入試課
6月13日	岐阜県立可児高校	40	入試課
6月14日	愛知県立尾北高校	40	入試課
6月16日	南山国際高校	20	入試課
6月17日	三重県メリノール女子学院高校 (私立)	30	入試課
6月20日	愛知県立阿久比高校	50	入試課

7月1日	名古屋市立北高校	40	入試課
7月4日	愛知県立成章高校	113	入試課
7月5日	静岡県 静岡サレジオ高校 (私立)	30	入試課
7月21日	岐阜県立多治見高校	120	入試課
8月23日	静岡県立掛川西高校	30	入試課
9月28日	岐阜県岐阜東高校	54	入試課
9月30日	愛知県立春日井高校	80	入試課
10月5日	三重県立川越高校	80	入試課
10月10日	愛知県立阿久比高校	21	入試課
10月11日	滋賀県立虎姫高校	80	入試課
10月12日	愛知県立刈谷北高校	80	入試課
10月14日	愛知県清林館高校 (私立)	20	入試課
10月17日	愛知県東邦高校 (私立)	40	入試課
10月21日	岐阜県立岐阜県立各務原西高校	146	入試課
10月22日	聖霊中学校	136	入試課
11月2日	南山高校 男子部・女子部	128	入試課
11月10日	愛知県栄徳高校 (私立)	90	入試課
11月25日	三重県立松坂高校	50	入試課
12月2日	三重県立川越高校	25	入試課
12月6日	長野県立伊那弥生ヶ丘高校	45	入試課
12月8日	岐阜県立岐阜商業高校	39	入試課
12月14日	長野県立木曾西峰高校	34	入試課

・大学見学以外の団体

日付	団体名	人数
4月4日	さくらデイサービスセンター	7
4月13日	名古屋大学	9
5月12日	歩こう会	15
5月31日	名古屋大学博物館	35
6月1日	名古屋大学博物館	10
6月6日	中京大学博物館教育論	43
6月13日	愛知県立総合看護専門学校	80
6月16日	愛知県立総合看護専門学校	40
6月21日	熱田生涯学習センター	9
6月24日	地域26会	15
7月6日	名古屋大学博物館	16
8月4日	鯉城学園歩いて知ろう会	44
8月26日	名古屋高年大学環境学科OB	10
8月27日	柏菱エンジニアリング (株)	10

8月27日	中日スキー友の会名古屋（ビィウッド）	20
10月14日	愛知県埋蔵文化財センター	16
11月11日	グランドファミリア赤池	15
11月17日	名古屋大学	15
11月18日	愛知県私立大学環境問題懇親会・環境フォーラム	36
11月21日	豊田市教育委員会	8
11月24日	明治大学博物館友の会	32
11月30日	刈谷ふるさとボランティアの会	25
12月3日	星城大学	16
12月6日	鯉城学園社会研究クラブ	46
1月7日	愛知教育大学	15
1月17日	歴史の里マイスターの会	15
1月26日	熱田史跡ガイドの会（熱田区生涯学習センター）	15
1月26日	国立民族学博物館	4
2月28日	國學院大學	30
2月28日	岐阜大学	15
3月13日	山北もみじの会	7
3月22日	名古屋ライトハウス	10

③視察見学

2016年11月29日（火）

國立臺北教育大學文化創意產業經營學系 中華民國博物館學會秘書長 林 詠能

3. 規程

(1) 南山大学人類学博物館規程

(目的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）を置く。

② 博物館は、「人類学（文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。）」（以下「人類学」という。）に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事業)

第2条 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営
- 6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館長)

第3条 博物館に館長を置く。館長は副学長（教学担当）とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(担当教員)

第4条 博物館に博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に従事する。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

(運営委員会)

第5条 博物館の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

第5条の2 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）
- 2 博物館学芸員養成課程委員会委員長
- 3 学長より推薦された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- 1 博物館の予算（案）および決算（案）に関する事項
- 2 博物館資料の収集選択に関する事項
- 3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項
- 4 博物館の事業に関する事項
- 5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事 務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行なう博物館資料の収集に関する事項を協議し、決定することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 南山大学人類学博物館運営委員会委員2名
- 2 博物館長より指名された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、博物館資料の寄贈の申入れについて、南山大学人類学博物館運営委員会の諮問に基づき、その可否を審議、決定する。

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事 務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア（以下、「博物館ボランティア」という。）の活動内容および登録手続等を定める。

(目 的)

第2条 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館—ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視
- 2 その他、博物館事業への協力活動

(活動上の原則)

第4条 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるため、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

- ② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報と適正に取り扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登 録)

第5条 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室（以下「事務室」という。）に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

- ② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

第6条 ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき
- 2 第4条に違背する行為があったと認められるとき

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

2017年6月5日 印刷

2017年6月5日 発行

南山大学人類学博物館年報 2016年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147

印刷 株式会社ウエルオン

460-0007 名古屋市中区新栄3-21-31

phone 052 (732) 2227